



水土里 ネット ちば

2015
平成27年

No.307 / 夏号



第21回美しい農村環境写真コンテスト 「棚田盛夏」 撮影場所：鴨川市 撮影者：川嶋 康昭

CONTENTS

飯岡刑部岬展望館～光と風～		平成27年度 千葉県農村地域再生可能エネルギー 推進協議会通常総会	11
「農業農村整備の集い」開催される	01	両総用水の路ウォーク【大網白里】開催される	12
多面的機能支払交付金制度の紹介	02	利根川水系農業水利協議会千葉県支部視察研修の報告	14
農地中間管理機構を活用して、皆さんの農地を生かしましょう!	04	地図データ整備作成業務について	16
平成27年度 新規着工地区紹介 ため池等整備事業 椎木地区	06	平成27年度 千葉県新規採用職員紹介	18
基幹水利施設ストックマネジメント事業 戸面原ダム地区の概要について	08	田んぼの生き物調査に参加して	20
国土強靱化に資する土地改良区の実績事例のご紹介	10	全国土地改良大会について	21



ぎょう ぶ みさき

飯岡刑部岬展望館

～光と風～



平成23年3月11日の東日本大震災では、海匝地域においても甚大な被害が発生しました。飯岡刑部岬展望館では、震災時に発生した津波に関する写真などが展示されています。展望館で、太平洋の美しい眺望とともに、震災について振り返ってみるのはいかがでしょうか。



展望館側からの眺望



灯台

開館時間等については、ホームページ(飯岡刑部岬展望館 光と風)
<http://iioka.info/> をご覧ください。

「農業農村整備の集い」開催される ～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

水土里ネット千葉 総務部

去る6月29日、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において「農業農村整備の集い」が開催されました。当日は多数の国会議員が臨席の下、全国から約800名（千葉県から38名）にのぼる土地改良関係者をはじめ、農林水産省からは林芳正大臣を筆頭に、副大臣、政務官、農村振興局幹部職員が参集されました。

この集いは、例年11月末に開催されていたものですが、このたびは、①平成27年度補正予算の確保に係る要望活動の一環としたいこと②財務省の「平成28年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」が閣議了解される前に予算確保に対する意気込みを顕示したいこと③平成28年度当初予算の概算要求が8月末のため、予算総枠が決まる前に一刻も早いアクションが重要と考えられること等により開催の運びとなりました。

冒頭、全国水土里ネット二階俊博会長は挨拶の中で「本年度の当初予算は、公共事業予算全体が前年度と同様に厳しい状況下であって、上位の伸び率を達成することができた。しかしながら、平成22年度の6割以上の大幅な予算削減、それ以前の予算規模からすると、まだまだ復活したと実感できる状況ではない。政府並びに与党の皆様方には引き続き一層の予算拡大に向けて、真剣な対応を賜るよう、全国農民の皆さんとともにお願い申し上げる次第である。」と述べられました。



▲主催者挨拶をする全国水土里ネット二階俊博会長

来賓祝辞では、林大臣が「農業農村整備は、国土強靱化、農業の競争力強化、地方創生といった現下の政策課題に取り組んでいく上で、重要な役割を有している。農業農村整備は農政の重要な柱となっているが、その予算については、平成27年度予算において増額を確保したものの、まだまだ現場のニーズに応えきれておらず、予算の確保による事業の計画的な推進が大きな課題となっている。今後とも、最大限の予算確保に努めてまいる。」と述べられました。引き続き、稲田朋美政調会長が挨拶し、土地改良の重要性を強く訴え、予算確保に努めることを力説されました。その後、来賓紹介、事例発表、要請文が満場一致で採択され、ガンバロウ三唱を力強く唱和して盛会のうちに幕を閉じました。

集い終了後、各県代表者は関係国会議員、関係省庁へと予算確保等の要望を行い、本県でも地元選出国会議員に要望をしてきたところです。

多面的機能支払交付金制度の紹介

はじめに

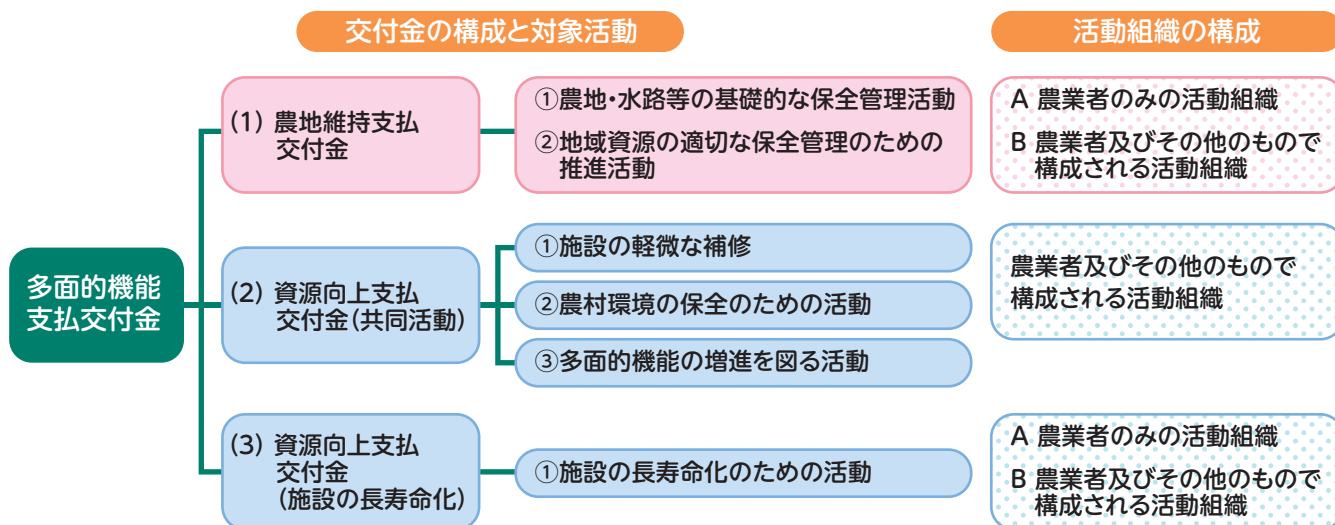
多面的機能支払交付金は、平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づいた安定的な制度となりました。

千葉県では今年6月末現在で395の活動組織で取組面積24,000haとなっております。県では、平成31年度の実績面積60,000haを目ざして事業の推進を図っているところです。

多面的機能支払交付金による取組

多面的機能支払交付金は、活動に取り組んだ組織に対して面積に応じて支援するものです(下図参照)。

なお、活動組織を設立する必要がありますので、市町村または管内の農業事務所にお問い合わせください。



(1) 農地維持支払交付金

水路の泥上げや農地法面・ため池の草刈り、農道の路面維持等に取り組むことができます。

農地維持支払交付金取組例



(2) 資源向上支払交付金 (共同活動)

- ①水路・農道等の軽微な補修
- ②景観形成・生態系保全等の農村環境の良好な保全
- ③多面的機能の増進を図る活動

以上の共同活動を支援します。

資源向上支払交付金(共同活動)取組例



①施設の軽微な補修(水路)



②農村環境保全活動(景観形成)

(3) 資源向上支払交付金 (施設の長寿命化)

水路、農道等の補修・更新等による施設の長寿命化のための活動を支援します。

資源向上支払交付金(長寿命化)取組例



コンクリート水路の更新



農道の補修

多面的機能支払交付金の交付単価(対象となる農用地は農振農用地区域内の農用地)

(単位 円/10a)

	①農地維持支払	②資源向上支払 (共同活動) ※1,2	③資源向上支払 (長寿命化)	①②及び③に取り組む場合 ※3
田	3,000	2,400	4,400	9,200
畑	2,000	1,440	2,000	5,080
草地	250	240	400	830

※1 取組を5年間以上継続している農用地については単価を75%として算定する。

※2 多面的機能の増進を図る活動に取り組めない場合は、②の単価は5/6を乗じた額となる。

※3 ①②及び③に取り組む場合には、②の単価は75%として算定する。

おわりに

今年度から、千葉県農地・水保全管理協議会が千葉県多面的機能推進協議会へと変わり、活動組織への指導・助言等のサポートに重点を置き事業推進を図ります。交付ルートも市町村から活動組織へと1本化されるなど、従来よりも使いやすい制度となっております。

地元の皆様には多面的機能支払交付金の実施を通じて、地域農業の担い手の育成・確保を含めて地域の将来を話しあっていただき、農用地や水路、農道等の地域資源をどのように引き継いで行けばよいのかをとりまとめて地域の発展に繋げていただければ幸いです。

詳しくは

千葉県多面的機能推進協議会
tel 043-241-7744

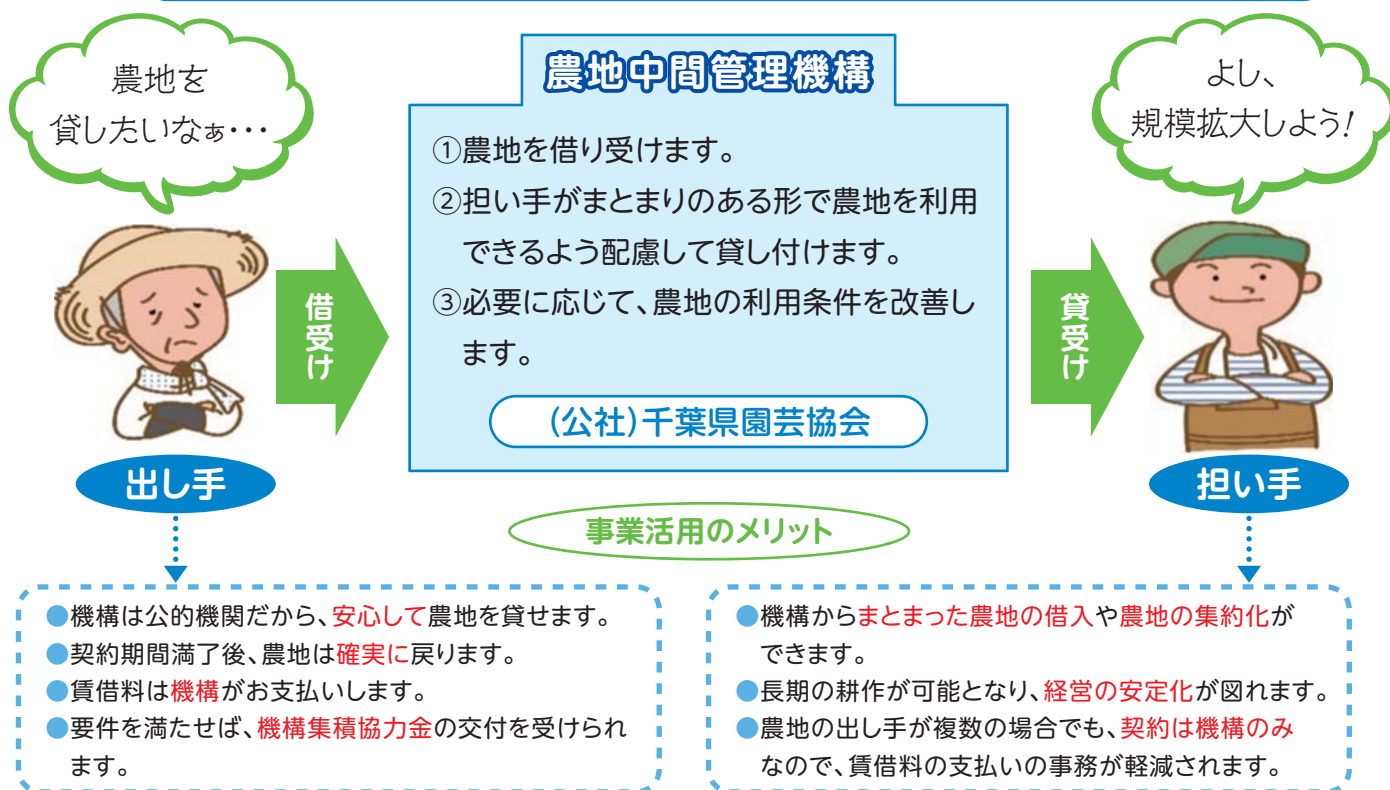
または

千葉県農地・農村振興課 地域振興班
tel 043-223-2858、2782

農地中間管理機構を活用して、 皆さんの農地を生きましょう!

皆さんの農地は、地域農業を守り、国民の暮らしを支える大切な財産です。是非、農地の有効利用と農業経営の効率化を図るため、「**農地中間管理事業**」による貸借をお願いします。

【農地中間管理事業の仕組み】(農業振興地域の農地などに限ります)



◎担い手が契約期間の途中で農地を機構に返すことになった場合、速やかに他の担い手に農地を貸し付けます。次の担い手が見つかるまでの間は、機構が農地を最大2年間管理します。

◎担い手同士の利用権交換により、耕作する農地を団地化することが可能になります。

相談又は問合せ先

● 公益社団法人千葉県園芸協会 農地部 (農地中間管理機構)

TEL 043-223-3011 FAX 043-224-1444

e-mail ▶ nouchibu@chiba-engei.or.jp URL ▶ <http://chiba-engei.or.jp/mgtmech.html>

● 各市町村の農政担当課等

● 各農業事務所企画振興課

● 千葉県農地・農村振興課 農地活用推進室 TEL 043-223-2848

農地中間管理機構への農地の出し手等に対する支援 〔機構集積協力金〕《全額国庫補助》

被災地域の特例：津波被災地域と認定されている銚子市、旭市、匝瑳市、山武市、横芝光町については、復興支援のため、協力金の加算や要件緩和の措置が講じられています。

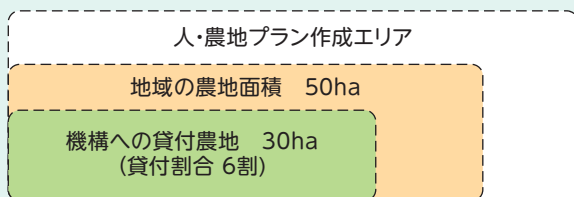
1 地域集積協力金

人・農地プランの策定が必須

- 人・農地プラン作成済みのエリアにおいて、担い手や農地所有者が話し合っ「地域」を設定し、地域内の農地を機構に貸した割合に応じて、協力金が「地域」に交付されます。
- 協力金の使い道は、「地域」の担い手や農地所有者が市町村と相談の上、地域農業の発展につながると思われる方法で自由に使用することができます。



交付単価 2万円～3.6万円／10a



* 機構に農地を原則10年以上貸し付けることや図面を作成する必要があります。

この場合の交付単価は、2.8万円/10a(※)ですので、 $30\text{ha} \times 2.8\text{万円}/10\text{a} = 840\text{万円}$ が「地域」に交付されます。

※ 貸付割合ごとの交付単価 (被災地域は0.4万円/10a加算)		※ 平成27年度の 交付単価です。
2割超5割以下	: 2.0万円/10a	
5割超8割以下	: 2.8万円/10a	
8割超	: 3.6万円/10a	

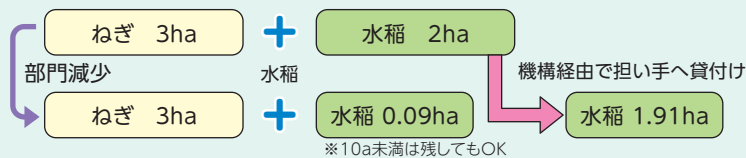
2 経営転換協力金

農業をやめる方や経営していた作物を一部やめる方(部門減少)、農地の相続人の方が、機構を経由して担い手に自作地(1年以上前から自作又は適正に管理していた農地)を貸した場合に、所有者に交付されます。ただし、遊休農地(被災地域内に所有する農地は除く)の所有者は解消することが交付要件です。



交付単価 30万円～70万円／戸

〈例〉ねぎ3ha、水稻2haを経営していたが、水稻をやめて田を機構に貸した場合



* 機構に農地を10年以上貸し付ける必要があります。

この場合1.91haが交付対象となり、50万円(※)が農地の出し手に交付されます。

※ 貸付割合ごとの交付単価	
0.5ha以下	: 30万円/戸
0.5ha超2ha以下	: 50万円/戸
2ha超	: 70万円/戸

3 耕作者集積協力金

以下のいずれかに該当する農地を、機構を経由して担い手へ貸した場合、自作地であれば農地の所有者、貸借地であれば耕作者(利用権が1年以上経過しており期間満了まで1年以上ある場合)に交付されます。

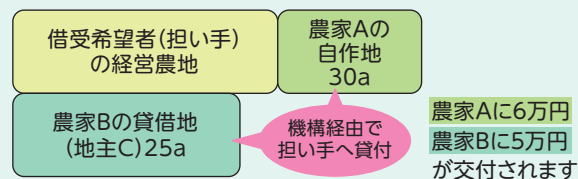
- ① 機構が借り受けている農地や借受希望者の経営農地に隣接する農地
- ② 農業機械の移動に支障のない2筆以上のまとまった農地

* 機構に農地を10年以上貸し付ける必要があります。

交付単価 2万円／10a

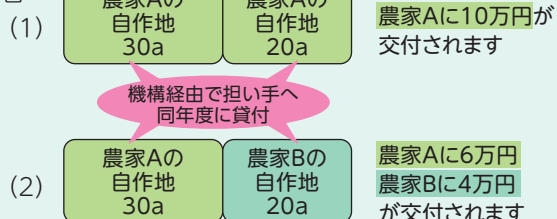
※ 平成27年度の交付単価です。

〈例〉①の場合



注：Bが担い手の他の経営農地と交換する場合等(分散錯圖の解消)
(BとCの利用権を合意解約し、Cは機構へ貸付)

②の場合



ため池等整備事業 椎木地区

夷隅農業事務所

椎木ため池は、JR外房線「太東」駅の北東約0.5kmに位置し、江戸時代に築造され、以来、岬町椎木地域45.8haの水田を潤してきました。

ため池の特徴としては、堤高3.8m、堤長354mに対し、貯水量633,400m³、満水面積21.8haと県内では最大級のため池となっています。

満水面積が広く湖面と周辺の樹木との調和が美しい風景を醸し出しています。

洪水吐は円弧式越流堰と珍しい構造となっているとともに、取水施設には煉瓦により化粧保護されています。

築造以来これまでに大規模な改修は行われておらず、堤体下流部からの漏水やパイピング孔の存在が確認されています。

取水施設や洪水吐は老朽化により維持管理に多大な労力を要しています。

さらに、堤体下流には農地や人家等が近接しており、本事業により早期の改修工事を行い、農作物及び人家等への被害を未然に防止し、用水確保による農業経営の安定を図る必要があります。

ため池の管理団体である夷隅郡太東第二土地改良区には、椎木ため池に隣接する中原ため池(貯水量297,000m³)など合わせて6か所のため池(貯水量総計106万m³)を管理しています。何れも地域の重要な水源となっており、土地改良区では年間を通じ適切に維持管理に努められています。



位置図▶



▲円弧式越流堰洪水吐



ため池等整備事業の概要

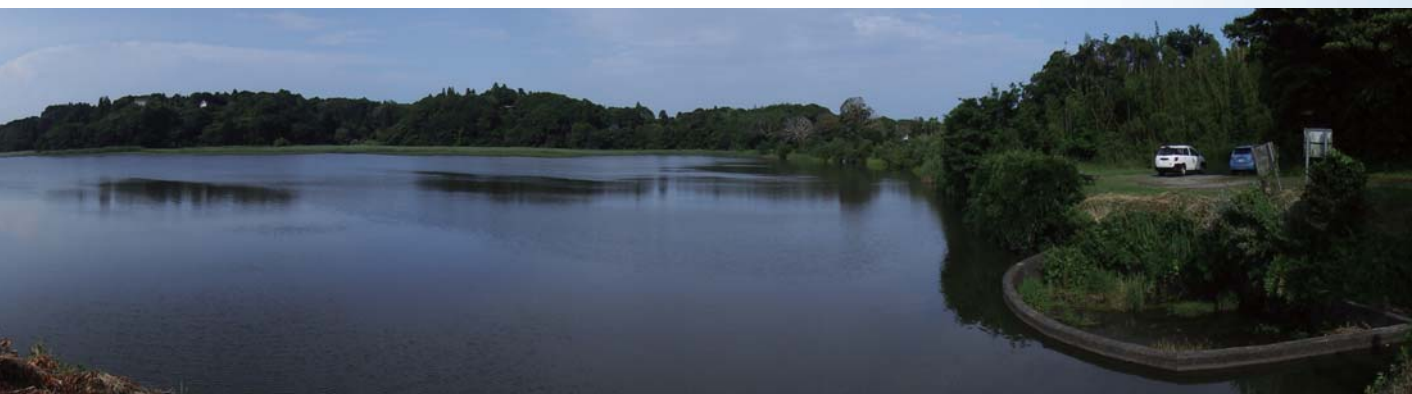
事業主体	千葉県
事業工期	平成27年度～平成30年度
事業費	186,800,000円
工事概要	堤体土工 V=9,917m ³ (セメント系固化材による改良) 堤体護岸工 A=4,199m ² (ブロックマット工法) 洪水吐工 L=34.9m(三面越流型式) 取水施設工 L=20m(鋼製スライドゲート)
負担割合	国55%、県29%、市11%、地元5%



▲取水口(ため池側)



▲取水口(水田側)



▲椎木ため池全景



▲中原ため池全景

基幹水利施設ストックマネジメント事業 戸面原ダム地区の概要について

君津農業事務所 主事 菊田祐介

昨今、経年劣化により維持管理費が膨らむ土地改良施設について、施設の長寿命化を図るための事業の需要が増えています。そのような長寿命化を図る事業として、平成27年度採択となりました基幹水利施設ストックマネジメント事業戸面原ダム地区の事例をご紹介します。

戸面原ダムについて

戸面原ダムは、県営かんがい排水事業湊地区の一部として、昭和47年起工、昭和57年に完成しました。

その後は、部品交換や補修等により機能維持が図られてきましたが、コンクリート施設や管理設備に経年劣化による不具合が発生し、特にダムの観測機器類が故障しているために、ダムの正確な状態が把握できなくなっていました。また、水の配分を制御する水管理施設でもデータ処理に関わるいくつかの装置が故障して、取水量のデータ管理ができなくなっており、用水の安定供給が図れない状態でした。

戸面原ダムは用水の安定供給とともに湊川下流域の洪水被害の軽減も担っており、早急に施設の更新・補修を行い、機能の維持・回復を図る必要性があったことから、平成27年度に当事業で採択されました。

事業の概要

関係市町村	受益面積	受益戸数	概算事業	予定工期
富津市	735ha	1,248戸	205,000千円	H27～32年度

施設の概要

【ダム堤体】

型 式：中心コア型フィルダム
総貯水量：4,350千 m^3
有効貯水量：3,860千 m^3 満水面積：45ha
堰 高：31.5m 堰 長：138.5m
天 端 幅：6.0m 堤 頂 高：TP84.50m



▲ダム堤体から望むダム管理棟(中央右)と余水吐(中央)

【主要施設】

取水用斜樋型式スライドゲート(800mm×5門・铸铁製)、ゲート操作設備、操作室、土砂吐ゲート、導水管、仮排水路トンネル、側溝流入シュート式余水吐、管理棟、観測機器、水管理施設

主な機能診断評価

【堤体】

堤体袖部分の張りブロック及び天端のひび割れ、陥没。防護柵の破断。

【斜樋ゲート】

スクリーン腐食。油圧機器から油漏れが見られる。

※ 塗装、油圧配管整備補修、操作盤計器補修を実施します。

【余水吐】

コンクリートの摩耗、剥離、継目に沿って漏水、欠損。

取付水路部左岸側のコンクリートのたわみ。

※ 表面保護工、断面修復、部分更新を実施します。



▲ダム堤体

【仮排水路トンネル】

ひび割れ、漏水、欠損。土砂の吸出しと思われる箇所有り。

※ 内壁の断面補修を実施します。

【ダム管理棟】

屋上の笠木の浮き、防水シート破損、屋上防護柵の錆・破断、ケーブルダクトの不備による漏水等。

※ 床張替、天井漏水補修等を実施します。



▲余水吐

【観測機器】

一部装置の故障。漏水観測装置の屋外配管劣化。

漏水観測施設のタラップ損壊。

※ 故障機器及びタラップの更新を実施します。

【水管理施設】

情報処理系の記録装置等の故障。

※ 故障機器の更新を実施します。



▲水管理施設

今年度の予定

平成27年度は実施設計業務一式を実施します。

おわりに

君津地域では、先人達が考案した「水車」や「水路隧道」などの利水施設により、河川の豊かな恵みを利用し、耕地整理とともに地域の農業を発展させてきました。

これらの利水施設は農業農村整備事業の実施により、頭首工や揚水機場、パイプラインに代わり、安定した用水が確保できるようになりましたが、施設の老朽化に伴い管理費も増大していることから「農業水利施設ストックマネジメント事業」等の施設更新・延命対策を計画的に行い、農業用水の安定供給と地域農業の振興を図って参ります。

国土強靱化に資する土地改良区の取組事例のご紹介

～下流域を水害から守る～

利根土地改良区

昨年、内閣官房国土強靱化推進室では、国土強靱化の推進を実効性のあるものにするためには、国・地方公共団体のみならず「民間企業等の主体的な取組が大変重要である」との考えから、大規模自然災害に対する民間企業自身の災害対応力や地域の防災力の向上に役立つ取組みなどの事例を募集しました。

このたび、応募事例の中から模範的な241の優良事例を選定し「国土強靱化民間の取組事例集」として今後企業の取組みの参考として全国に発信されたところです。

利根土地改良区でも、応募したところ”社会貢献をする事業者”の部門の中で選ばれ、事例集に掲載されましたので、内容をここに紹介させていただきます。

なお、内閣官房ホームページでも事例集の全体がご覧いただけます。

(検索キーワード「国土強靱化 民間の取組事例集」)

濁流の勢いを弱める溢流堤による安全対策(事例番号216・利根土地改良区)

- 千葉県のリ根土地改良区は、柏市・我孫子市の北部、利根川沿いに位置する。この地区は江戸時代から流作場と称し、耕作地、採草地、萱取場に利用されていた遊水池であった。戦後の食糧緊迫に伴い、昭和22年から開拓され農地が造成された。
- 本地区は優良農地に生まれ変わり個人の所有地になったが、昭和25年には利根川流域水害を被害軽減させる溢流堤を完成させた。溢流堤は、洪水時には地区内に濁流が流入させて川の流れを一旦抑制させ、収穫は皆無となるが、下流域を水害から守り人的な被害を軽減させるものである。近年、溢流堤は、地盤沈下等により沈下し、計画より低い段階で水が流入していたが、平成17年3月に改善されている。なお、利根川の洪水時には、最大6,000万トンもの濁流を一時的に受け入れており、地域の安全確保に今も役立っている。



◀濁流が流入した農地
(平成13年9月)

平成27年度 千葉県農村地域再生可能エネルギー推進協議会通常総会

水土里ネット千葉 技術部

去る7月22日に千葉県土地改良会館において、「平成27年度千葉県農村地域再生可能エネルギー推進協議会通常総会」を開催しました。本協議会は、県内11の土地改良区と千葉県耕地課・県土連の13団体で構成されています。



はじめに、協議会会長（県土連会長）の代理で県土連の鈴木副会長が挨拶し、その後、千葉県耕地課の杉野課長（協議会副会長）から、事業の背景や現状について報告をいただき、議事に入りました。

<審議内容>

第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算

第2号議案 平成27年度事業計画及び収支予算

以上の2議案が上程され、全会一致で承認されました。

本協議会では、農林水産省農村振興局の補助事業である小水力等再生可能エネルギー導入推進事業を活用し、昨年度は千葉県マスタープランの策定や技術力向上のための地方研修会の開催・中央研修会等へ参加し、土地改良区・市町村・県・土連職員が農村地域における再生可能エネルギーの施策に関する勉強をしています。本年度も、同様の研修のほか、一部の地区で概略設計を行う予定です。

千葉県再生可能エネルギーマスタープランでは、平成22年度農業水利施設利用小水力発電導入事業で検討済みの小水力発電6ヶ所と本年度検討した小水力発電2ヶ所・太陽光発電施設14ヶ所、併せて22ヶ所について可能性の検討を実施しており、発電施設設置の可能性がある地点については、随時概略設計や基本設計を考えています。

エネルギーを取り巻く環境は先行き不透明であります。土地改良区が安定した運営を維持するためには今後とも再生可能エネルギーの推進をして行きたいと考えています。

両総用水の路ウォーク

《大網白里》開催される

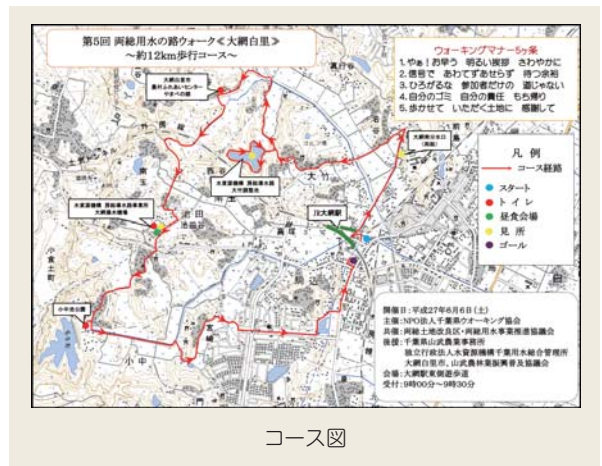
山武農業事務所 両総用水管理課長 鈴木 清次

去る6月6日(土)に大網白里市において、第5回「両総用水の路ウォーク」が千葉県ウォーキング協会主催、両総土地改良区、両総用水事業推進協議会共催で開催され、約150名が参加しました。

この両総用水の路ウォークは、両総用水を造った先人達の思いや歴史を感じ、現在の施設をめぐり学ぶために、平成23年から毎年【東金～山武】、【佐原】、【横芝光】と場所を変えて開催されています。

今年の会場である大網駅周辺は、用水路が開水路からパイプラインに更新され地下に埋設されたため、地上に顔を出して見える形での両総用水施設が少なくなり、周辺住民の方でも気付かないことが多くなっているかも知れません。

コースは国営事業で新たに生まれ変わった両総用水の施設に加えて、独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所の協力をいただき、関連する房総導水路の施設や、開発された住宅地のそばに残る農村風景を見ながら約12kmのコースで回りました。



コース図



スタート地点の様子

両総用水の南部幹線用水路が埋設されている大網駅前の遊歩道をスタートし、用水路沿いに両総用水の上流に向けて歩き、両総用水の大網南分水口を経て、房総導水路の施設である大竹調整池の周囲を一周し、大網白里市農村ふれあいセンター「やまべの郷」を經由し、JR外房線の高架の下をくぐりぬけ、昼食会場の水資源機構房総導水路事業所の大網揚水機場につきました。



大網南分水工付近



大竹調整池付近



つみれ汁の配布



大網機場でのビデオ説明

雨の予報もあり昨年の第4回の横芝での雨の中のウォーキングを思い出しましたが、参加者が昼食会場につくころには雲の切れ間から日差しが見え、ウォーキングには暑いくらいの好天となり、会場では持参した昼食と一緒に食べられるよう、大網白里の浜の味である「つみれ汁」がふるまわれました。

大網揚水機場では昼食休憩を兼ねて、施設の見学ができるように水資源機構房総導水路事業所の職員の方による説明や、ビデオによる房総導水路事業概要の説明などが行われ、九十九里地域の水道用水や京葉工業地帯への工業用水等、施設の目的や役割を知ってもらいました。



ゴールの様子

午後からは、大網揚水機場を出発し、両総用水の実現にも寄与した当時の福岡村長の十枝雄三氏が築造に奔走した農業用水のため池「小中池」のほとりにある小中池公園を経て、南部幹線用水路が埋設されている大網駅前遊歩道に戻りゴールしました。

ゴール地点では、恒例となったお土産として、地元山武管内の米粉パンと山武郡市農協の農産加工品「キャロ

トジュース」が参加者全員に配布されました。

来年からも、地域の農業や生活を支えている両総用水の施設や施設管理の活動について、地域の農家以外の方にも理解と協力を得るための機会として「両総用水の路ウォーク」の継続的な実施に協力していきたいと思

います。



恒例のお土産(米粉パンとキャロトジュース)の配布

利根川水系農業水利協議会 千葉県支部視察研修の報告

〈事務局〉水土里ネット千葉 管理指導部



思川西部土地改良区会議室での研修状況

7月23日から24日にかけて、栃木県の思川西部土地改良区と川治ダムにおいて視察研修を実施しました。

昨年の視察研修は、台風の影響により直前で中止となり、本年度も心配しておりましたが、過去最多の総勢61名の参加により、無事に開催することが出来ました。

1日目は、同じ利根川水系である思川西部土地改良区において「土地改良区における多面的機能支払交付金の取り組みについて」を研修させていただきました。当改良区は、小山市と栃木市に跨る受益面積2,219ha、組合員数1,967人で、多面的機能支払交付金に取り組む活動組織に対して、先進的に支援をしています。改良区が支援している活動組織は、小山市側の受益地において当初20組織が多面的機能交付金に取り組んでいましたが、平成26年度より新規5組織を加えた25組織で広域活動組織「思川西部農村環境保全会」を設立し現在活動しております。改良区は、思川西部農村環境保全会より事務委託を受け、活動計画の作成補助、活動記録・金銭出納簿・作業写真のまとめ、交付申請・実施状況報告書の作成などを支援しており、保全会からは事務の軽減を図ることができた大変喜ばれているということです。研修では、業務の実情を聞くことができ、有意義な質疑応答がなされました。また、活動の一環として実施している田んぼアートを見学することが出来ました。



活動の一環として実施した田んぼアート

2日目は、川治ダムを視察しました。川治ダムは、鬼怒川の上流部に位置し、国土交通省鬼

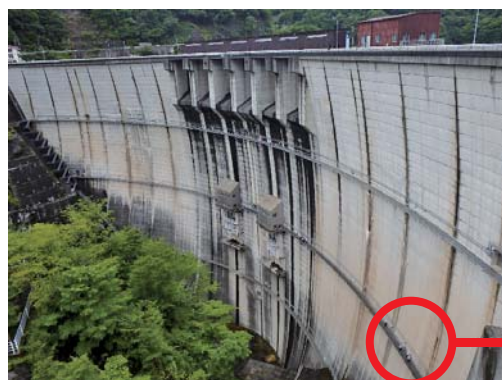


川治ダムでの集合写真

怒川ダム統合管理事務所が管理しています。利根川開発の一環として建設された多目的ダムで、規模としては有効貯水量7,600万 m^3 、堤高140m、堤長320mのアーチ式コンクリートダムです。研修では、職員の方より施設の概要、管理状況等の説明を頂き、またダム壁面の点検通路(通称キャットウォーク)まで案内、施設の説明をして頂きました。点検通路では施設の大きさに圧倒されました。

終わりに、お忙しい中、視察研修の説明、案内をしてくださった思川西部土地改良区の椎名理事長はじめ職員の方々、また国土交通省鬼怒川ダム統合管理事務所川治ダム管理支所の桑久保支所長はじめ職員の方々に深く感謝申し上げます。

また、視察研修に参加いただいた皆様には、終始研修にご協力いただき、無事に終了しましたことを、本誌面をお借りしてお礼を申し上げます。



点検通路(通称キャットウォーク)歩行中

地図データ整備作成業務について

袖ヶ浦市横田土地改良区

地図データ整備作成については、平成18年度から施工された経営体育成基盤整備事業による区画整理工事に始まり、水田・道路・用水路・暗渠排水工事等が平成25年度で完了、平成26年度に財産譲与手続きを実施するに当たり、土地管理及び施設管理を目的に地図データの整備を行いました。

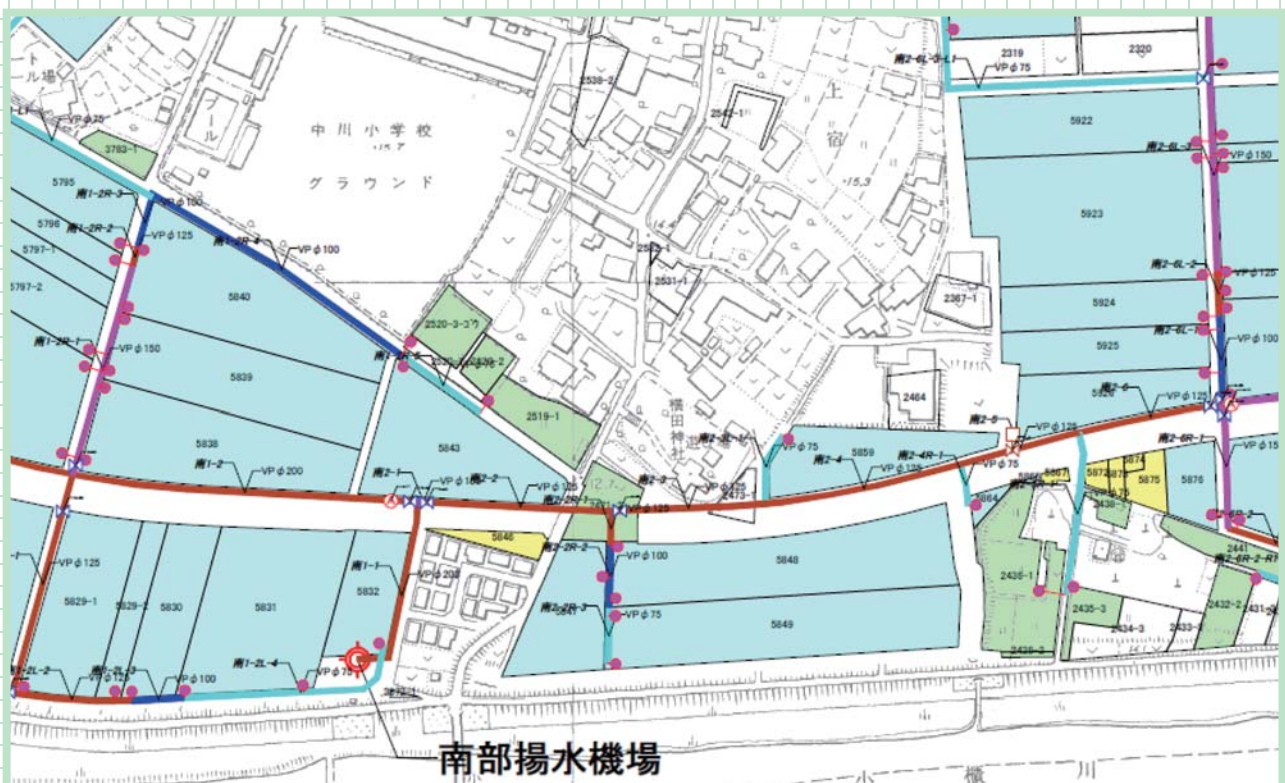
本改良区の現状は土地原簿については、面積が、反・畝・歩で表示されていたことから、面積基準を登記簿面積としメートル法に統一し、賦課基準額についても、平方メートル(m²)単位としました。

以上の二点を臨時総代会により決定し、改良区内の全ての地目「田・畑」、約4,600筆について公図、要約書を徴して現状の土地原簿との確認を行いながら、組合員毎に「賦課面積確認表」を作成し組合員に確認してもらい、土地原簿を作成し、賦課面積の根拠としました。

データ整備の内容については基本的な管理項目については、理事会で検討し、詳細な項目については委託先の「水土里ネット千葉」と相談しながらデータ内容を精査していきました。

具体的な項目は、組合員名、組合員番号、地区名、生年月日、地権者名、住所、連絡先、地番、面積、選挙人名簿、選挙区、賦課金請求者名、水掛かりによる区分、賦課判定等々現在使用しているデータ以外にも、今後予想される事態に備えて必要と思われる項目についても整備を行いました。

整備された



今後は地図データ整備で作成した賦課金システムにより、組合員からの届出を遅延なく即座に受付修正し、データの維持管理に努めることで土地管理及び組合員管理を適正に行います。

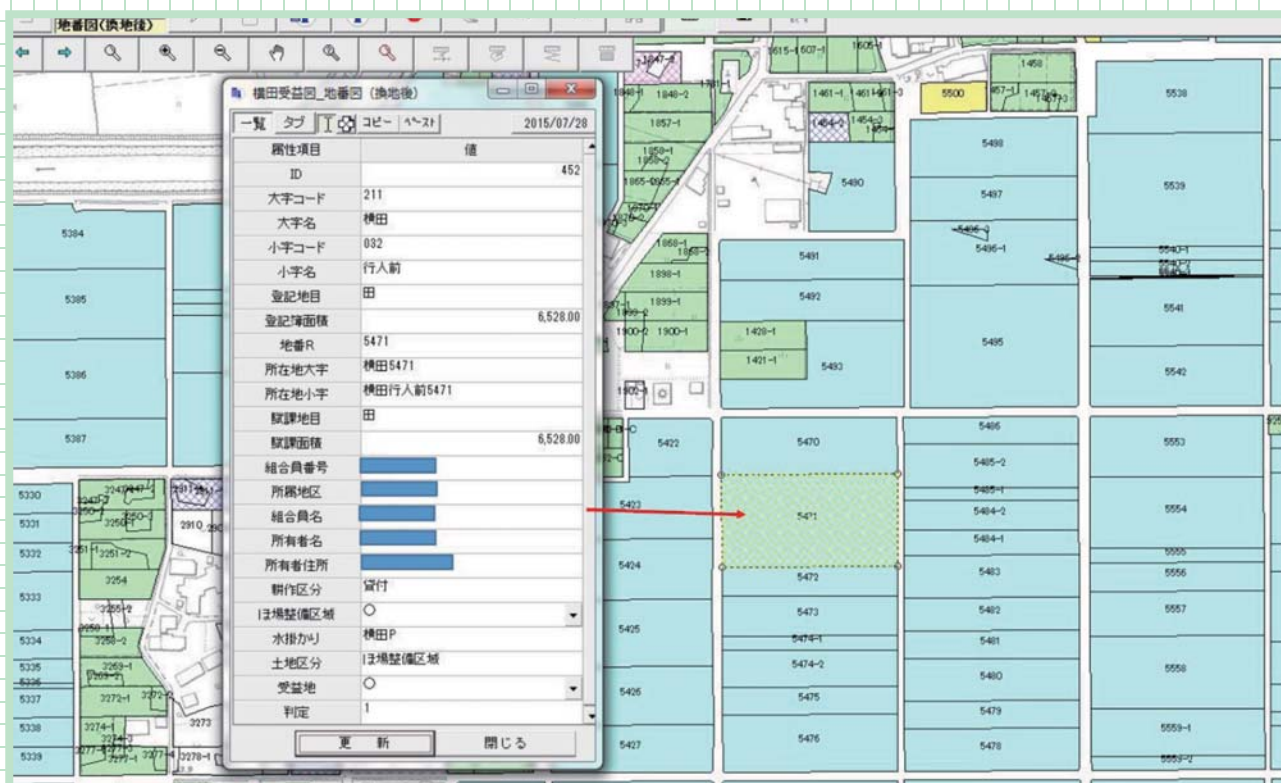
平成25年度の地図データ整備及び賦課金システム導入から2年目となるが、整備前に比べ事務処理が正確で迅速にできるようになり、現金、振替、振込による納付に対応した賦課金通知書、賦課金領収書、賦課金領収済通知書の3枚綴りの印刷や入金処理等の徴収事務作業の軽減が図られ、事務の省力化につながっています。

システム導入により組合員ごとの賦課地番、面積を表示し確認できる内訳書が作成できることから、組合員への情報提供もスムーズな対応ができています。

賦課金請求事務については、年に2期(6月、9月)の事務処理が大幅に削減されている。又、各組合員の水田(耕作地)の変更がない限り、入力作業の必要がなくなり、事務処理の煩雑さが解消されています。

また、平成26年度には、基盤整備事業の財産譲与に併せ水利施設の地図データ整備を行い、土地や施設のデータ化が完了し、平成27年度からは、土地・組合員・水利施設等の情報を水土里ネット千葉が提供する「水土里情報システム」を活用し、施設管理と併せ組合員への情報提供を行う予定です。

地図データ



田んぼの生き物調査に参加して

水土里ネット千葉 今井 美佑
阿部 優香
伊藤 有希



生き物を捕まえる子どもたち

去る6月25日、当日まで天候が心配された「田んぼの生き物定点調査」は、数日ぶりの清々しい青空のもと横芝光町篠本新井土地改良区受益内の田んぼ・水路で行われました。

平成19年度から実施しているこの調査は、基盤整備事業を実施するにあたり、農地周辺に住む生物の実態を把握し、環境へ与える影響の予測や影響が生じる範囲への環境対策について検討することを目的としており、今年で9年目を迎えています。

今回は地元の横芝光町立日吉小学校の5年生を中心に、山武農業事務所、横芝光町役場、篠本新井土地改良区、当連合会等の職員がサポーターとして調査に臨みました。

初めは遠巻きから小学生のサポートを行っていましたが、時間が経つにつれて童心がよみがえり、いつの間にか一緒になってカエルなどを追いかけていました。

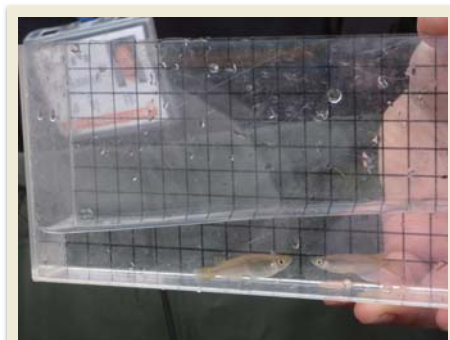
さらに、普段なら絶対に着る機会のない胴長を着させていただき、ぬかるむ水路へ入ってメダカなどの小魚を追い込む”漁”にも挑戦しました。

小学生もみんながやる気に満ち溢れ、競うように生き物たちと触れ合っている姿がとても眩しかったです。

また、次から次へと飛び出てくる様々な質問にサポーターのたじろぐ場面もしばしば見受けられ、元気な彼らにおいて行かれそうになりながらも、丸一日余すところなく貴重な体験をさせて頂きました。

結果、三地点の調査で、ザリガニ、ナマズ、フナ、コイ等の数十種類の生き物が採取されました。

過去の結果と比較しても大きな変化はみられず、基盤整備事業による生き物に及ぼす影響は少ないことがわかりました。



採取されたメダカ(この後元の水路に返す)

この体験を通じて、今まで気に掛けることのなかった水田まわりの生態に触れ、私たち自身の視野も広がりました。

このような実際に生き物と触れ合って学ぶことは、小学生にとっても大変貴重な経験になると思います。今回の「田んぼ生き物定点調査」にあたり携わった関係者の皆様に、深く感謝致します。



初めての胴長

第38回



全国土地改良大会 青森大会

開催日 平成27年10月15日(木)

会場 新青森県総合運動公園
マエダアリーナ

交歓会 ホテル青森(孔雀の間)

事業視察 平成27年10月16日(金)



主催/全国土地改良事業団体連合会 青森県土地改良事業団体連合会

後援/農林水産省 青森県 青森県議会 青森市 青森県市長会 青森県町村会 公益社団法人青森県観光連盟
公益社団法人青森県物産振興協会 青森県農村整備建設協会 青森県土地改良調査設計技術協会 NPO法人あおりふるさと再生機構



あづましの風流れる青森大会 土地改良の路繋ぎ 明日への確かな途拓く

残暑お見舞い
申し上げます



千葉県土地改良事業団体連合会

会 長

林 和 雄 (白子町長)

副会長

山 田 一 夫 (安房中央土地改良区理事長)

副会長常務理事

鈴 木 大 作 (学識経験者)

理 事

伊 鍔 幹 雄 (市原市市原西部土地改良区理事長)

阿 曾 亮 一 (千葉県手賀沼土地改良区理事長)

泉 水 源 衛 (印旛沼土地改良区理事長)

飯 島 正 義 (千葉県大利根土地改良区理事長)

塚 瀬 一 夫 (東金市十文字川土地改良区理事長)

太 田 洋 (いすみ市長)

渡 邊 秀 夫 (天羽土地改良区理事長)

宇 井 成 一 (香取市長)

岩 田 利 雄 (東庄町長)

森 英 介 (両総土地改良区理事長)

代表監事

薄 井 厚 (学識経験者)

監 事

高 木 甚 一 (佐原市石納野間谷原土地改良区理事長)

刈 込 勝 利 (鴨川市加茂川沿岸土地改良区理事長)



水土里ネットちば 307号 (平成27年8月発行)



発 行

水土里ネット千葉(千葉県土地改良事業団体連合会)
〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地5
TEL.043-241-1711(代)/FAX.043-248-2563(代)

印 刷

株式会社ニッセイアド
〒264-0026 千葉市若葉区西都賀4-18-3
TEL.043-206-7752/FAX.043-206-7753